

技術家庭（技術分野） 第2学年

1. 教科(技術)の目標

- (1) 実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎・基本的な技術を習得する。
- (2) 技術が果たす役割についても理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術について科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、保守点検必要性及び、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関りについて理解しているとともに、安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。	災害時に想定される問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践的な評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている	安全な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。

3. 評価の観点と評価方法

	一学期				二学期				三学期			
	授業観察	製作物	学習レポート	期末テスト	授業観察	製作物	学習レポート	期末テスト	授業観察	製作物	学習レポート	期末テスト
知識・技能	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎
思考・判断・表現	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○

○…取り上げる評価方法

◎…取り上げる評価方法のうち特に重視するもの

技術家庭(技術分野) 年間評価計画 (第2学年)

月	指導項目	指導内容	評価方法と評価の観点
4	ガイダンス	○ガイダンス	※授業観察
5		①1年間の学習計画の説明 ②評価について	全期間に渡って適宜実施 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的)
6	製作品の設計・製作	○木材を使って生活に役立つものを作ろう	・作品の評価(技能、思考・判断・表現)
7	1章エネルギー変換と利用	1 エネルギー変換について知ろう 2 電気を創るしくみを知ろう 3 電気を供給する仕組みを知ろう 4 電気回路について考えよう 5 電気機器を安全に使用しよう	・自己評価(思考・判断、主体的) ・期末考査(全観点)
9	○製作品の設計・製作 ・センサーライトの組み立て	○自然界のエネルギー資源をどのように生活に生かしているか調べる ○電気エネルギーを利用する機器を調べる	
10		○電気エネルギーを他のエネルギーに変換する例を調べてまとめる	
11		○エネルギー変換を利用した製品を構想する	・作品の評価(技能、思考・判断・表現)
12		○製作の準備をする ○基盤にはんだづけをし、部品を取り付ける	・期末考査(全観点)
1	3章プログラムによる計測・制御 情報とわたしたちの生活	○生活の中のメディア ○デジタル作品の構成 ○情報の収集と加工 ○作品の中にある計測・制御	・作品の評価(技能、思考、判断、表現)
2	○デジタル作品の設計と制作 ・オーロラクロックの作成	○計測・制御のシステム ○処理の手順とプログラム	・制御プログラム(思考・表現、主体的)
3	○プログラムによる計測・制御	○プログラムによる模型の制御	・学年末考査(全観点)